



TOHOKU
UNIVERSITY

International Program in Liberal Arts

第2回チューターガイダンス

高度教養教育・学生支援機構
グローバルラーニングセンター
末松和子

本日のアジェンダ

- 留意事項の確認
- 活動の充実にむけて
- これまでの活動の振り返り
- 帰国支援
- 来学期のチューター活動

留意事項① 留学生の支援

- 生活支援
 - 寮費、公共料金、国民健康保険等の滞納 →忘れがち
- メンタルヘルス
 - 学業不振、欠席、体調不良 (守秘徹底→相談)

生活が落ち着く頃にホームシックになる学生もいる。気になる変化は、早めの共有を。チューティーと2週間以上連絡が取れない場合は留学生課に連絡を！！

留意事項②チューター

参考（再掲）

- 活動内容：日本語学習支援、専門分野における学習支援、生活適応支援（**支援活動**のみ謝金支給対象となる）
- 活動時間：週2時間程度の定期的な支援活動
 - ★謝金支払いの対象となる活動の上限は原則 **1学期あたり48時間**
（活動が謝金の支給対象となるかは活動報告書の内容をもとに判断）
 - ★チューター活動は、日常的な学習・生活支援を主目的とするため
22時以降の深夜時間帯の活動は急を要する場合を除き控えてください。
- 謝金：1時間あたり1,000円 ※学部・大学院共通
支払いは学期ごと（前期分は10月末）
- 活動報告：**活動日ごと**に報告書を入力のうえ提出

留意事項②チューター

<活動時間・謝金>

- 1回の活動時間は2時間を目安とすること
- 単なる娯楽、飲食など、自分も楽しむ目的の活動は謝金対象外
- 報告書の記載不備は謝金対象外となる場合があるので注意

<留学生とコミュニケーションをとるポイント>

- チューターから積極的にアウトリーチ
- すぐに連絡が取れる手段を確保（LINEなど）
- お互いの授業が確定したら、毎週のミーティングをルーチン化
- 支援が必要な時だけ会うのではなく、継続して活動する



TOHOKU
UNIVERSITY

留意事項②：チューター リマインド：報告書

「活動報告書をどの程度書いたらいいのかわからない」

<参照>

第1回チューターガイダンス資料
記入例

<重要>

活動内容が分かりにくい報告書（例：情報が少ない、その前の活動内容のコピペ）は、内容を確認させていただく場合があります。

報告書の提出はチューターの状況を確認するとともに、チューターのみなさんの状況も把握することになるので、具体的に記載してほしい



TOHOKU
UNIVERSITY

活動の充実に向けて

日本語学習支援（習熟度別・目的別）

初習～初中級者：

- 会話：
 - ・ 1週間のハイライトにつき報告し合う
 - ・ テーマを決めて話し合う（例：「自分の仲がいい友だち」、「家族について」、「自分が一番好きな祝日とその理由」、「思い出の旅行・お勧めの旅先」など
- 読み書き：
 - ・ 主にひらがなで書かれている絵本を一緒に読む
 - ・ 1週間のハイライトを交換日記形式で報告し合う

★教科書を見せてもらう、テーマはお互いが話し合って決める

日本語学習支援（習熟度別・目的別）

中級～中上級者：

- 会話：
 - 1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - 意見が分かれるようなテーマを考え話し合う（例：中等教育機関での制服着用、成人・飲酒・喫煙・結婚・投票可年齢の違いやそれに対する賛否）
 - 最近のニュース（最初は面白ニュースから）
- 読み書き：
 - 交換日記に加え、歌詞など分かりやすい文章から、簡単な小説と一緒に読む、その感想文を書いてもらうなど



日本語学習支援（習熟度別・目的別）

上級者：

- 会話：
 - 1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - 意見が分かれるようなテーマを考え話し合う
 - 一緒に架空の調査やプロジェクトを企画する
 - 時事問題（新聞記事を使って議論）
- 読み書き：
 - 日本語能力試験、ビジネス日本語等の資格試験対策
 - 作文を書いてもらい添削（対面で話をしながら。その際、訂正するだけでなく、「ではこれを使って他の表現を考えてみて」と知識の定着を確認

★ テキストのやり取りのみでは活動として認められないので注意してください。

活動の充実に向けて

- 活動の輪を広げる支援
 - IPLANETの交流活動
 - サークル活動
 - 地元のイベントと一緒に参加（フリーペーパー）
- ヘルプデスクの活用
 - チューティーと一緒にいき、サポートを受けられる場として活用する
- 最近留学生と連絡が取れていない、会う約束をしてもドタキャンを繰り返す、授業に行けていない、などのケースは本人に許可を取ったうえで、大学に相談を！

帰国支援

＜IPLA生向けサイト＞

Leaving Procedures:

https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/exchange/leaving_procedures/

・ 口座解約 ・ 区役所手続き ・ 楽天モバイル など → **特に重要**

＜チューター専用サイト＞

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/ipia-tutor/>

**★最終発表会（8月5日）よりも早く帰国する学生は、協定校からの
レターをもって事前申請する必要があるので、留学生に確認を！**

**★最終発表会後にIPLANETリーダー主催のお別れ会があるので、
8月6日以降の帰国を推奨**

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語初習者向け>

- レストランで日本語での注文と会計を手伝った。また、「雨」「飴」と同音異義語に興味を持っているようなのでそのことについて話した。昼食後、生活必需品を揃えたいとのことだったので店を案内したり、探しているものを店員に代わりに尋ねたりするなどの手助けを行なった。
- 日本語クラスの教材や授業予定を見せてもらい、今後どうサポートすべきか考えました。サラダやハンバーグのプレートに乗っている食材の日本語を教えたり、「いってらっしゃい」「おかえり」への返し方、音読みと訓読みの違いなどについて教えました。
- 授業やアルバイトの話をする中で、チューティーが「このクラスはちょっとむずかしいです」と言った際、「ちょっと」と「とても」のニュアンスの違いや、日本語では遠回しに表現することがある文化的背景を説明した。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- 仙台駅で会い、新しい学期のシラバスが見られないと困っていたのでそのサイトの案内や医療費についての書類が届いたが日本語で分からなかったのでその内容の説明などを行った。また、春休みに行ったところについてその経路ややったことを日本語で話して、一番苦手な会話の練習を一緒に行った。
- 1週間の間にあった出来事やおすすめの観光スポットなどについて日本語で話してもらった。他にも、週末にIPLA tripに行くことや、履修している授業の話など、日本語でたくさん話してくれて、いい会話練習になったのではないと思う。「日帰り」のことを「にちがえり」と言っていたため、「ひがえり」ということを教えたり、「飾る」という日本語を教えた。
- 午前中にあったという日本語授業で学んだ表現を使いながら会話をした。
「～(だ)し、～し、...だ」という表現と「～しながら～する」という表現について話した。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- キャンパス周辺の観光地についての紹介に加えて、宮城の方言について教えました。「だから」が相槌のように接続詞以外の意味合いでも使われることや沿岸の地域と仙台市中心部の話し方の違いについても話しました。
- 学習面については、日本語の授業で習った漢字の意味について、その成り立ちも含めて調べながら話をする事で、文化に親しみを持ちながら学習を進めてもらえるようサポートした。
- 昼食を共にしながら会話をする中で、日本語の自然な会話表現や語彙の使い方についてサポートした。例えば、「アルバイトをする」という表現に対して、チューターが「アルバイトをやる」と言っていたため、「する／やる」の使い方の違いを説明した。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <コミュニケーション編>

- 日本の方言やアクセントについて教えた。例えば「かき」のように2種類の意味を持ち、アクセントによって意味が異なる単語について話した。
- 4/5のお花見では一対一で話す機会がなかったため、今回は学食で日本語を交えながらお互いのことについて話した。日本語の練習では、普段は英語で話す機会が多いため、会話の途中途中で日本語で話す機会を設け、少しゆっくりめに日本語の会話をした。またお互いの授業日程が確定したので、一週間のうちで会う日時についても相談し、毎週金曜日の午後に会うことに決めた。
- 川内キャンパスの学食で会い、一緒に昼食を食べながら日本語で会話をしたり、日々の生活についての相談に乗ったりした。大学での生活に慣れてきているようで、支払いや日本語での注文はひとりでスムーズにできていた。日本語での会話では、漢字学習のやり方についてアドバイスをしたり、各国の公共交通機関の違いやGWの過ごし方について話したりした。また今後学外での活動で何がしたいか聞くと、日本の居酒屋に行ってみたいとのことだったので、予定を立てた。

振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <その他>

- 市役所への付き添いと、保険料などの振込の援助を行った。日本語の支援や、ATMでの振り込みの仕方を確認した。また、ATMで振り込みができない用紙があったため、窓口にお問い合わせ、ゆうちょ銀行以外の郵便局であれば、振込ができることを確認し、三井住友銀行や七十七銀行を紹介した。留学生課で受け取った資料の説明をした。
- 公共交通機関の乗り方について説明した。まず、Suicaの購入方法を教え、仙台駅で新しいものを購入した。また、仙台駅の主要な場所（新幹線、JR線、待ち合わせ場所によく使われるステグラ等）の共有をした。さらに、バスの使い方についても乗り場の説明から、バスの確認方法の共有、バスの乗り方、料金の払い方（日本のバスを現金で払うとおつりが出てこないこともあること）などを共有した。
- 彼女が東京で財布を落としてしまったため、入国カードの再発行のため、immigration officeの付き添いをした。手続きのサポートを行った。また、icscaの再発行をするため、仙台駅でその申請書を書くのを手伝い、通訳を行った。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <その他>

- ウォークラリーが終わった後、コンビニに行った。充電がないと言っていたので、コンビニで借りられるモバイルバッテリーを紹介しシステム・利用方法を教えながら設定を行った。またコンビニの店頭でのオーダーの仕方、メニューの説明、購入後のマシーンに入れて完成させるドリンクのシステムについて教えた。
- 川内キャンパスの食堂で学食を食べながら、日本語でお互いの基本情報についての会話をした。その後、図書館に移動し、寮費の振り込みや履修登録方法などをパソコンを使い、一緒に確認し、1人でできなかった場合は、土曜日に一緒にやる約束をした。また、留学生課に行く必要もあり、一緒に向かった。
- 日本の銀行で使われている用語が難しく（日本人にとっても理解が難しいが、、、）、どのように伝えればいいか苦悩した。また、中国の銀行システムは、日本のものと異なる部分も多いため、留学生にとっては、ハードルが高いように感じた。

秋学期(2025)チューター募集について

・秋学期（2025）参加者74名 *5/14時点

スウェーデン、フランス、ドイツ、中国、タイ、台湾、アメリカ、
オーストラリア、イタリア、香港、韓国、イギリス、スイス、スペイン、
マレーシア、アルゼンチン、オーストリア、オランダ、カナダ、
コロンビア、フィンランド、ペルー、ポーランド

【今後のスケジュール】

- 合格発表(IPLA生へ) : 4月21日通知済
- 6月下旬 : チューター継続意思確認
- 7月中旬～ : チューター募集開始
→ IPLANETリーダーへ周知依頼 & GLCホームページ掲載
- 8月上旬 : チューター募集締切
- 8月中旬～9月上旬 : チューターマッチング・発表
- 9月下旬～ : チューティー渡日
- 9月下旬～ : チューター活動開始